

主催 公益社団法人 兵庫県建築士会

阪神・淡路大震災 30 年記念事業

震災対応新時代へ

全国の地震災害から

学んだ教訓の継承と発信

いつどこで大規模地震が起こるかわからない今、
これからの備えについて一緒に考えてみませんか。

うすれない記憶はない。
つなぐべき決意がある。



宮城県
石巻市

北上川河口市民病院付近



熊本県
熊本市

城郭が崩れた熊本城



兵庫県
神戸市

神戸市灘区 43 号線岩屋交差点周辺



石川県
能登半島

土砂崩れで寸断された能登半島の道路

令和 7 年 1 月 25 日(土) 13:00~17:20 受付 12:30~

会場:こうべまちづくり会館 2 階ホール 兵庫県神戸市中央区元町 4 丁目 2-14

参加費:無料 定員:会場 90 名・WEB110 名(先着順) 定員を越えた場合は参加をお断りする場合がございます。



講師／パネリスト
室崎 益輝 氏
MUROSAKI YOSHITERU
神戸大学名誉教授
兵庫県立大学名誉教授
減災環境デザイン室顧問

● 第 1 部 13:00~
記念講演会
阪神・淡路大震災30年
~これまでとこれから

阪神・淡路大震災は、地域主体、事前減災などの教訓を残してくれた。その教訓が生かされているのかを能登半島地震などから検証し、南海トラフ地震などに向けての、取り組むべき課題を明らかにする。

● 第 2 部 記念フォーラム 14:40~
パネルディスカッション
震災対応新時代へ
~全国の地震災害から学んだ
教訓の継承と発信~

パネリスト

記念講演講師 室崎 益輝 氏

宮城県 小川 俊彦 氏

石川県 矢尾 志津江氏

熊本県 廣田 清隆 氏

兵庫県 田村 嘉朗

ファシリテーター 渡邊 一洋

一般社団法人
宮城県建築士会 石巻支部長

一般社団法人
石川県建築士会 副会長

公益社団法人
熊本県建築士会 副会長

公益社団法人
兵庫県建築士会 副会長

公益社団法人
兵庫県建築士会
災害対策委員会委員長

1944 年生まれ。京都大学大学院修士課程建築学専攻修了。工学博士。神戸大学都市安全研究センター教授等を経て現職。消防審議会会長、日本火災学会会長、災害復興学会会長等を歴任。日本火災学会賞、日本建築学会論文賞、防災功労者内閣総理大臣賞、などを受賞。著書に「建築防災・安全」、「災害に立ち向かう人づくり」(編著)、「災害に向き合い人間に寄り添う」



お問合せ：公益社団法人兵庫県建築士会事務局

Email: jigy@hyogo-aba.or.jp 電話 078-327-0885



CPD プログラム認定 3 単位

阪神・淡路大震災 30 年記念事業

震災対応新時代へ

いえづくり
まちづくり
ひとづくり
兵庫県建築士会

全国の地震災害から学んだ教訓の継承と発信

令和 7 年 1 月 25 日(土) 13:00~17:20 (受付:12:30 ~)

会場:こうべまちづくり会館 2 階ホール 兵庫県神戸市中央区元町 4 丁目 2-14

阪神淡路大震災後に発災した全国各地の大地震の経験を踏まえ、今建築士にとって震災対応として何が
できるか立ち止まって熟考する機会とし、この30年間に培った知見をもとに新たな対応へと進むための、研
鑽、学びとなる事業としたいと思います。また、この事業を通じて、建築専門家の職能集団である建築士会
として、先を見据えた提言を広く一般市民に発信していきます。

パネルディスカッション 登壇者紹介



室崎益輝氏を含むパネリスト 4 名の震災体験をオンラインでパネラーをつなぐ形で紹介後、会場参加者の意見を何う
時間を設け市民と専門家が情報を共有して未来に語り継ぎ伝えて行くべき新しい防災の姿と一緒に考えていきます。

パネリスト
一般社団法人宮城県建築士会
石巻支部長
小川 俊彦氏 OGAWA TOSHIHIKO
1957 年生まれ。新潟県立高田工業高等学校建築科卒
日精株式会社(東京:立体駐車場メーカー)入社
一級建築士 平成 14 年 2 月小川設計一級建築士事務所
開設。主に木造戸建て住宅、店舗、倉庫などの設計・監理
業務に携わる。(一社)宮城県建築士事務所協会理事。



パネリスト
公益社団法人兵庫県建築士会 副会長
田村 嘉朗 TAMURA YOSHIAKI
1955 年神戸市生まれ。元明石市建築技師/
一級建築士 阪神・淡路大震災時、応急危険度判
定業務の被災地受入側として奔走。/県士会・近畿
建築士会協議会青年部会長、県士会まちづくり委
員長を歴任。兵庫県まちづくり功労者表彰。



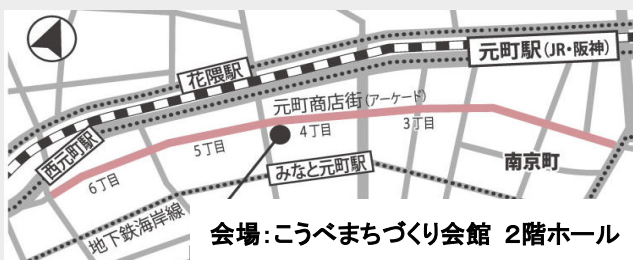
パネリスト
一般社団法人石川県建築士会 副会長
女性委員会相談役
矢尾 志津江氏 YAO SHIZUE
1972 年石川県加賀市生まれ。石川工業高等専門学校建
築学科卒。石川県内で勤務。一級建築士。平成 19 年能
登半島地震、応急危険度判定に参加。東海北陸ブロック
女性建築士協議会運営委員長、日本建築士会連合会女
性委員を歴任。



ファシリテーター
公益社団法人兵庫県建築士会
災害対策委員会委員長
渡邊 一洋 WATANABE KAZUHIRO
建築家/1956 年姫路市生まれ。神戸大学建築学科
卒業。一級建築士。1992 年渡邊建築設計事務所開
設。阪神・淡路大震災以後、まちづくり活動を地元
にも向け、姫路市で民生委員等の社会福祉活動なども
継続中。兵庫県建築士会まちづくり委員長等を歴任。
応急危険度判定士。



パネリスト
公益社団法人熊本県建築士会
災害対策特別委員長
廣田 清隆氏 HIROTA KIYOTAKA
1956 年天草市生まれ。廣田建築・都市設計工房代表/構
造設計一級建築士。2016 年(熊本地震発生)災害担当理
事、応急危険度判定等に携わる。2020 年(熊本県南部豪
雨災害発生)浸水住宅復旧講習会等実施。2022 年建築
士会連合会「災害対策委員」。「浸水被害住宅の技術対策
マニュアル」を作成に携わる



参加方法

申込期限 令和 7 年 1 月 17 日(金)

参加費 無料 定員:会場 90 名・WEB110 名(先着順) 定員を越えた場合は参加をお断りする場合がございます。

申込先 公益社団法人 兵庫県建築士会事務局

申込方法 参加申込書にご記入の上、FAX 又は E メール送信いただくか、
専用フォームよりお申込みください。

FAX 078-327-0887 Email: jigy@hyogo-aba.or.jp

専用フォーム URL <https://forms.gle/wwbeHuYfVXLk21Kb9>



専用フォーム QRコード

この事業は「公益財団
法人ひょうご震災記念
21 世紀研究機構」補
助金を財源とする「ひよ
ご安全の日推進県民
会議」の助成を受けて
事業を行っています。



参加申込書	フリガナ氏名	住所 〇で囲ってください。	1. 兵庫県 2. それ以外
	所属 〇で囲ってください。	参加方法 〇で囲ってください。	1. 会場参加(こうべまちづくり会館) 2. WEB(zoom)参加
	E:mail	CPD※希望者のみ 携帯番号	番号